

6. 外国の研究機関との研究協力について

会報114号（数学通信第9巻第2号の82ページ）において報告されたように，第15回のMSJ-IRIのテーマにIHESと共催でフランスで開催するプランが提案され，学術委員会から採択するよう推薦されたのですが，公募内容と提案された内容が異なることを理由に理事会ではこの案は採択されませんでした．また，この様なことをきっかけに，MSJ-IRIを1年休むことにし，学術委員会でMSJ-IRIを再出発するための検討を行うことに致しました．

理事会では，この様な日本数学会の国際協力の現状を再検討した結果，MSJ-IRIが行われない1年を補い，また日本数学会と外国の研究機関の協力関係を強めるため，上記の前田吉昭氏により提案された計画を，前田氏に協力を頂き，理事会が主導した形で実行することに致しました．

（理事長記）